

# 図書館あれこれボックス

## マンガ特集—マンガが読める図書館!

図書館は少し難しい本ばかり並んでいると思いませんか?実は、マンガもあります。**なんと!国東市図書館にはマンガ約5,600冊、コミックエッセイは約800冊。**マンガの約6割は市民・利用者の寄贈。国見図書館には全体の半数を超す約3,000冊を所蔵、日本の文化でもあるマンガを10年、20年先でも利用できるように保存・収集しています。

話題のドラマ・映画の原作から、なつかしい作品、マンガ大賞・手塚治虫文化賞など、後世に残したい作品を幅広く収集。ぜひ、図書館をご覧ください。また、不要になったマンガ本がありましたらお知らせください。

### ●一部紹介

- ・『ゴールデンカムイ』野田サトル
- ・『スラムダンク』井上雄彦
- ・『ドラゴンボール』鳥山明・『大奥』よしながふみ
- ・『ポーの一族』萩尾望都
- ・『藤子・F・不二雄大全集』藤子・F・不二雄
- ・『大家さんと僕』矢部太郎 など

### ～マンガ貸出ベスト～

- 1位『あたしんち』シリーズ 270回
- 2位『ドラえもん』シリーズ 161回
- 3位『3月のライオン』シリーズ 128回

### 車いす配置のお知らせ

くにさき図書館入口エントランスに車いすを配置しました。

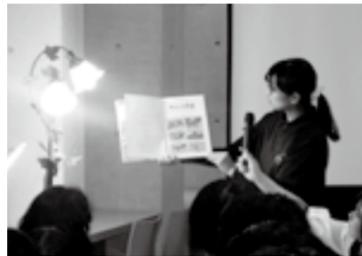


## 図書館の話題

### ●秋の読書週間4館合同イベント「大人のためのおはなし会」を開催

10月31日18時から、夜のくにさき図書館で参加者は27名。

- 1、読み聞かせ3話(アリス・おはなしどーなっつ・子ども司書)
- 2、カフェタイム
- 3、星座のおはなし(梅園の里天文台 天球館 館長)の3部構成



図書館のこれまでにない大人向けの内容に、参加者から「ゆっくりと時間が流れ、秋の夜長にぴったり」「リラックスできた」「どのお話にも感動」「星座にまつわる話は素敵」「初対面の方と知り合え楽しく、美味しかった」など多くの感想をいただきました。図書館は「大人のためのおはなし会」に、これからもチャレンジします。

### ●クリスマス会

- 国見図書館 12月14日(土) 午前10時30分～ ペーパーサート・工作など
- 安岐図書館 12月14日(土) 午前10時30分～ 親子読書グループ「ひまわり」と協働
- くにさき図書館 12月22日(日) 午後2時～ ロボットNAOが絵本の読み聞かせに!?



### ●おたのしみプレゼントキャンペーン(4館合同) 昨年はなんと約1,000人が応募しました。

- ◆応募期間 12月21日(土)～1月12日(日) ◆抽選発表 1月16日(木)

### ●市図書館年末年始休館のお知らせ ご理解・ご協力をお願いします。

12月28日(土)から1月3日(金)は、月末資料整理日及び年末年始休暇です。



### 『廉太郎ノオト』 谷津 矢車/著

大分県に縁のある瀧廉太郎について、もっと知ってみませんか?東京で才能を開花させ、若くしてこの世を去った天才音楽家、瀧廉太郎の青春を描いた物語です。



【問合せ先】 国見図書館 ☎0978-82-1585 武蔵図書館 ☎0978-69-0946  
くにさき図書館 ☎0978-72-3500 安岐図書館 ☎0978-67-3551

## 教育の里だより

### 国東市歴史体験学習館(弥生のムラ)は、学校との連携を大きな柱の1つとして活動しています。

平成13年に開館した国東市歴史体験学習館は、国史跡「安国寺集落遺跡」の保存及び活用を図るとともに市民と親しむ場を提供し、教育、学術及び文化の発展に寄与するため設置されています。遺跡の学史的価値は高く、「西の登呂」と評価されており、出土した土器については東九州地方の弥生時代後期から古墳時代前期の土器形式「安国寺I 0Ⅱ式」の基準資料となっています。(文化庁データベースより一部引用)



小学生による発掘体験

弥生のムラは、このような国東市の財産を後世に語り継ぐとともに、児童・生徒の郷土愛を醸成し、歴史学習を支援するためにも学校との連携を大きな柱として活動しています。また、学術的な意味も含め大学との連携も進めており、その学史的価値の発信を続けています。

令和元年度も多くが学校が利用しており、社会見学、米づくり、古代体験メニュー、出前授業、古代への旅(宿泊体験)、遠足、大学による博物館実地研修など、のべ830人余りの学生が歴史体験を実践しています。今後も学校はもちろん市民に愛される博物館を目指して職員一同、精一杯のおもてなしで皆さまをお迎えいたしますので多くの方々のご来場をお待ちしています。



今年度 市内小中学校に配布したプログラム一覧

### 令和元年度 国東市歴史体験学習館企画展開催のお知らせ



### 写真家 石元泰博 モノクロに見る国東紀行

昭和の「くにさき」を訪れた  
客人(まろうど)たち

～岡本太郎、吉増剛造、大護八郎、石元泰博

写真 ©高知県、石元泰博フォトセンター



昨年、六郷満山開山1300年を迎え、多くの方が「くにさき」を訪れて下さいました。今回の企画展では、約40年前の「くにさき」の情景を「客人(まろうど)たち」の秀逸かつ斬新なパネル写真(モノクロ版)や言葉で「くにさき」の魅力を演出しています。昭和の「くにさき」を一緒に旅してみませんか?

開催期間 令和元年 12月14日(土)～令和2年 4月5日(日)

午前9時(初日のみ午後1時)～午後5時(入館は午後4時30分まで)

会場 国東市歴史体験学習館 ※月曜日、祝日の翌日、12/29～1/4は休館

入館料 一般…200円(高校生以上) / 子ども…100円(小・中学生)

### ギャラリー トーク

「石元泰博」と『国東紀行』 12月14日(土)午後1時30分～  
高知県立美術館石元泰博フォトセンター長代理兼学芸課チーフ 天野圭悟氏

「岡本太郎について」 1月12日(日)午後1時30分～  
大分県立美術館 館長代理 渡辺修武氏、学芸員 木藤野絵氏

【問合せ先】文化財課 ☎0978-72-2677